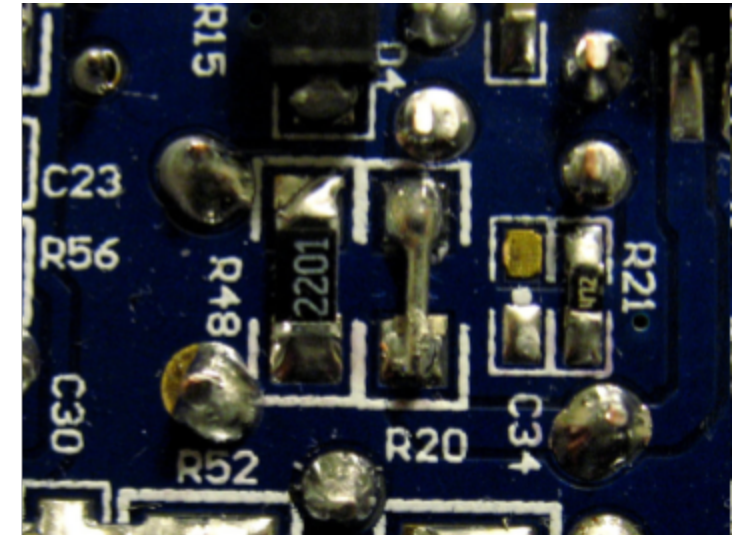


基板上充電回路

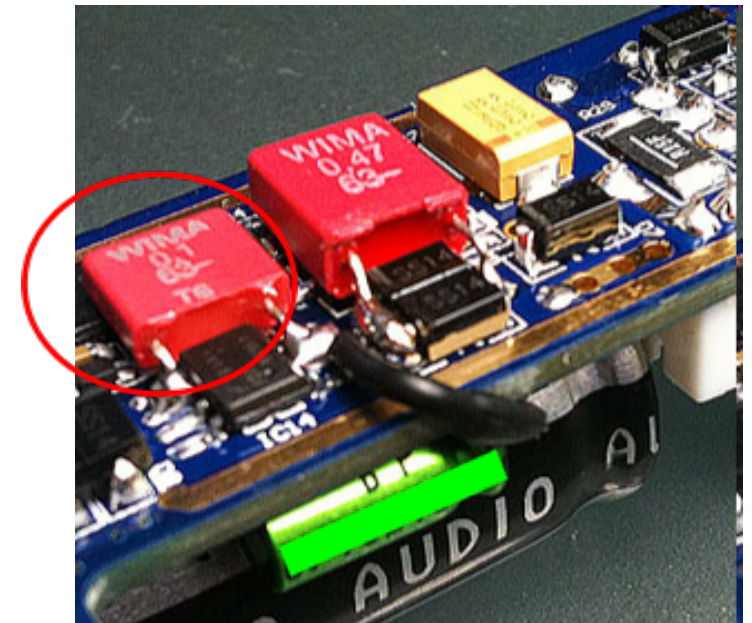
1, R20短絡

- 使用部材: 抵抗の足など
- R20上のチップ抵抗を取り外す
- 距離があるので余った抵抗の足などで短絡する
- 4ch使用しないなら必要なし



2, パスコン設置 IC14

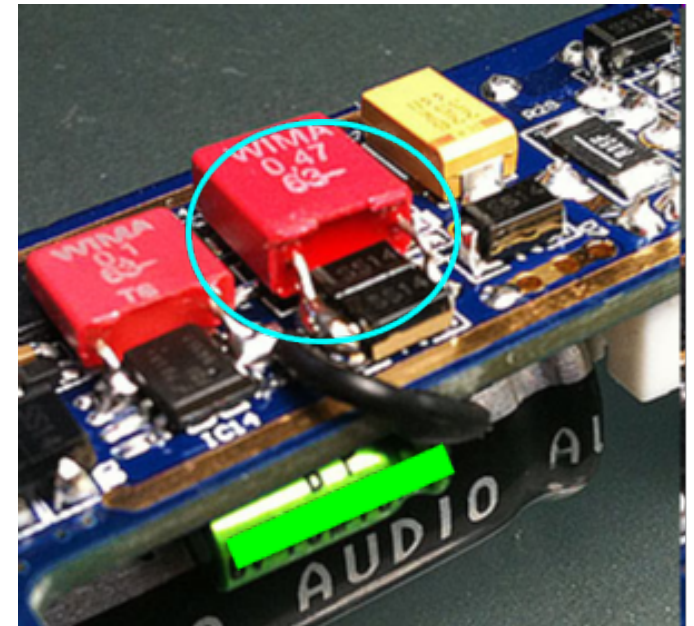
- 使用部材: フィルムコンデンサ WIMA MKS2 0.1 μ F/63Vなど
- IC14のソースとドレインへ並列接続
- 接続: IC14の1~3番ピンのいずれかと5~8ピンのいずれか (1-3, 5-8は内部で繋がっています)



基板上充電回路

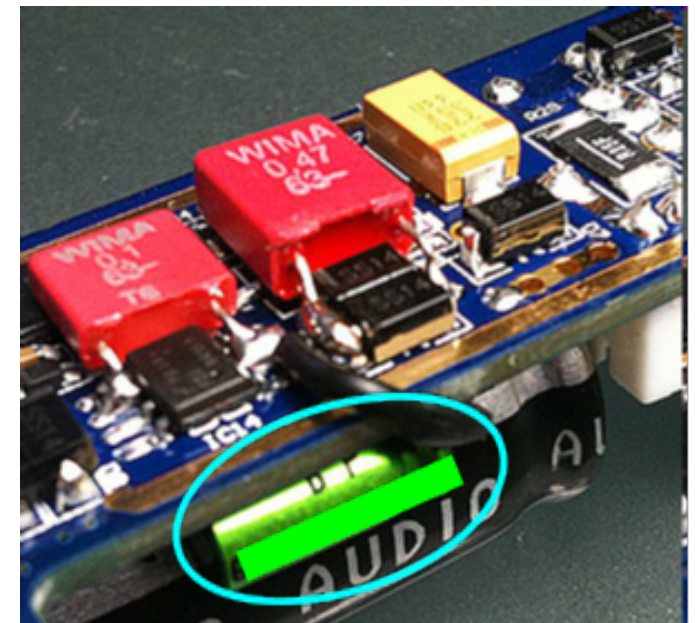
3, パソコン設置 D1,D2

- 使用部材: フィルムコンデンサ WIMA MKS2 0.47 μ F/63Vなど
- D1とD2のA-K間でパラる
- D1,D2は基いた上で繋がっています



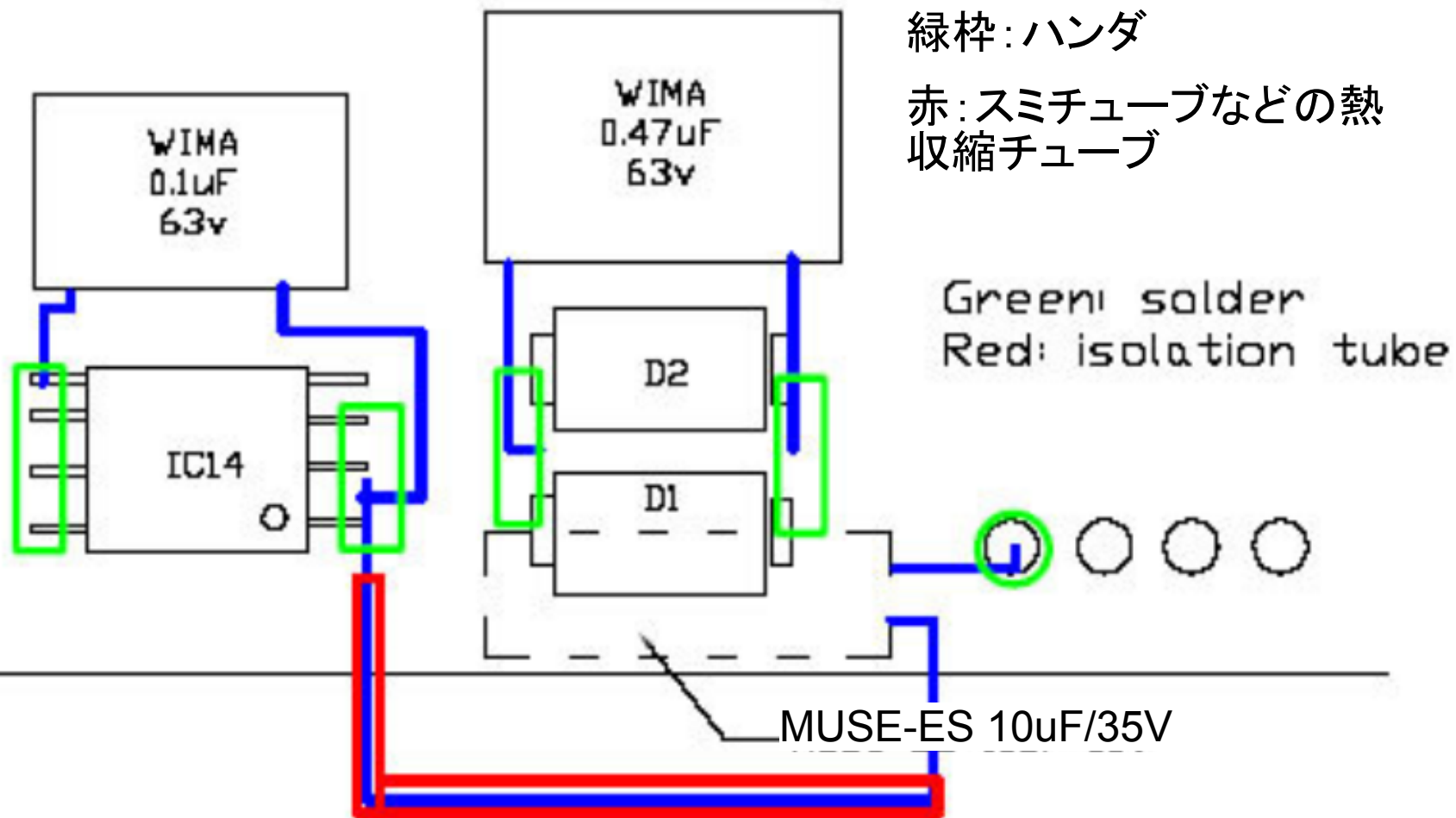
4, バイパス補填 D1,D2

- 使用部材: ES等の無極性電解コン 10 μ F/35V等
- 耐圧を35V品以上にする事。
- 図の部分へ設置 (次ページ参照)
- 表→裏への配線はチューブなどで必ず絶縁すること



基板上充電回路

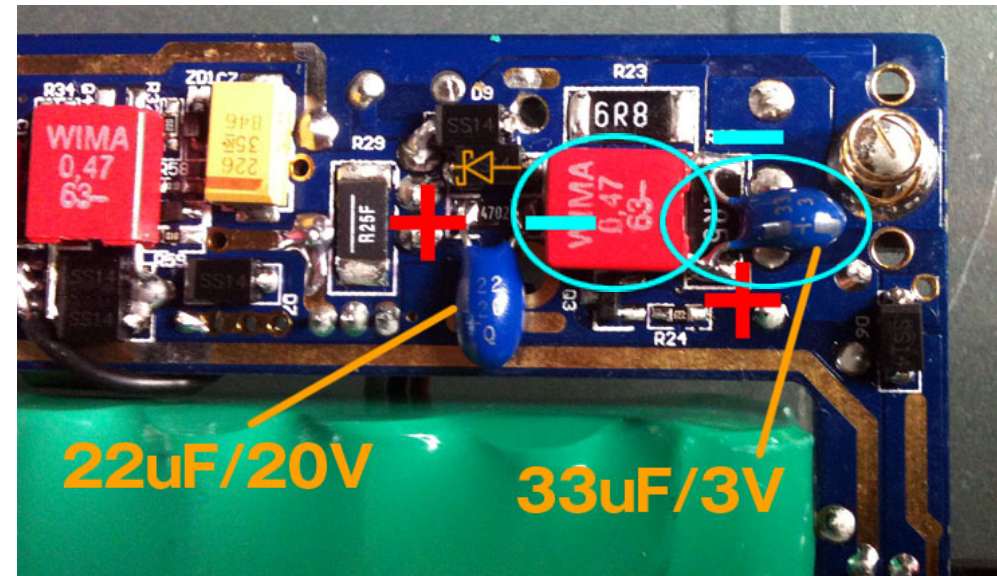
234, 配線接続要領



基板上充電回路

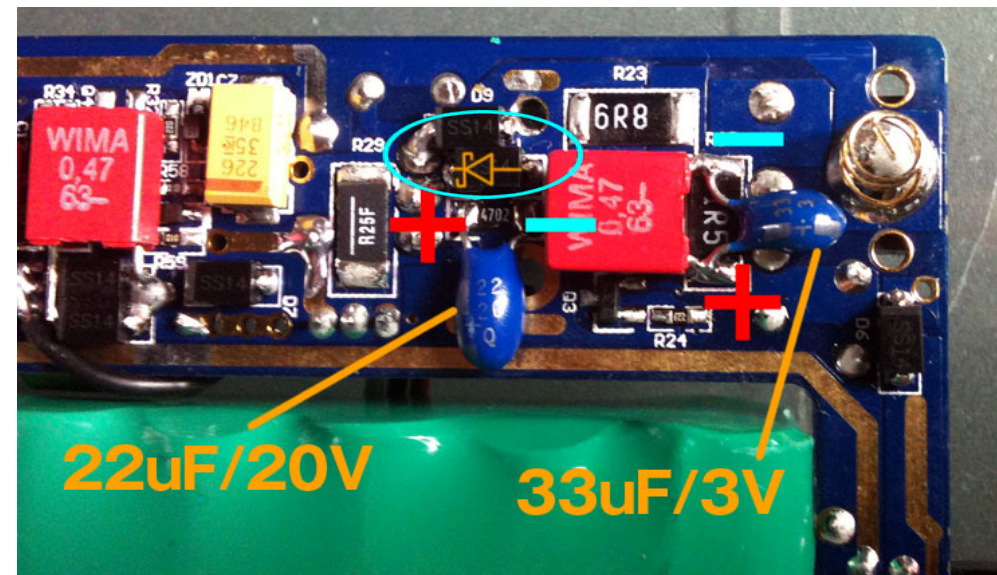
5, パスコン設置 R27

- 使用部材: フィルムコンデンサ WIMA MKS2 0.47 μ F/63Vなど、更にタンタルコンデンサ 33 μ F/3V(低耐圧で良いので容量を稼ぐこと)
- R27と並列接続
- 設置後は再び充電電圧の調整が必要、16.88~16.93VでLEDが消えればOK



6, リップル除去改善

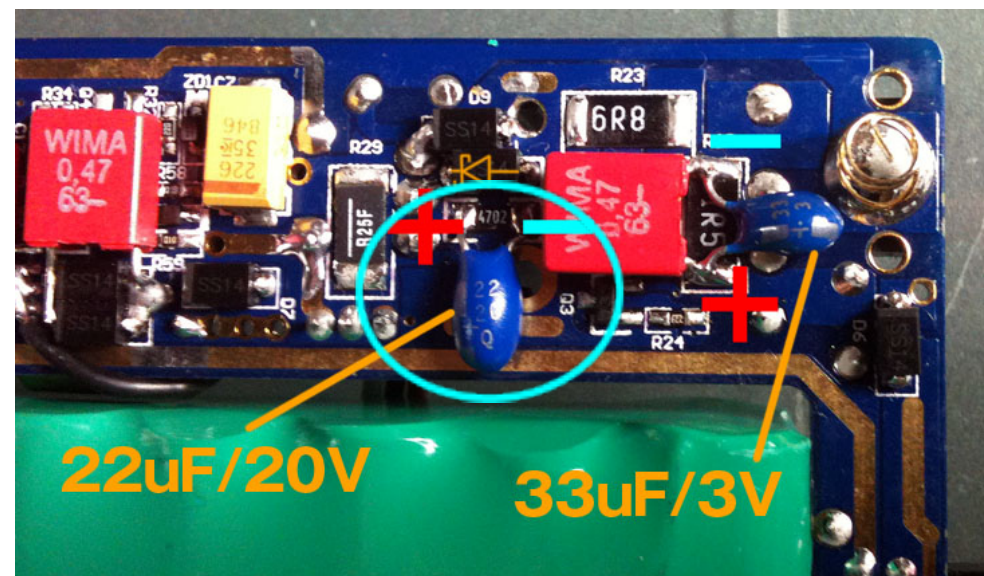
- 使用部材: ショットキーバリアダイオード 1A 40V程度のもの
- R25と並列接続
- アノードとカソードの方向に注意



基板上充電回路

7, リップル除去改善

- 使用部材: タンタルコンデンサ 4.7 μ F以上 / 20V耐圧以上品
- R26と並列接続
- 極性注意



8, 4chノイズ対策

- 使用部材: リード線、絶縁チューブ
- メイン基盤表の図部分をパターンカット
- メイン基盤裏の図部分を短絡
- 4ch使用しないなら必要なし

